

！ 日本人の10人に1人が骨粗鬆症

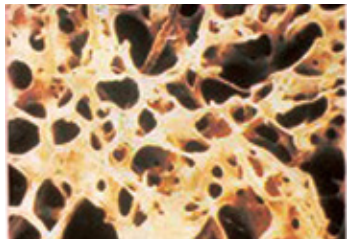
日本では、約1,280万人が骨粗鬆症にかかっていると推定されています。大腿骨近位部骨折は年間14.8万件を超え、約10%の方は1年以内に亡くなっています。骨折の影響で寝たきりになったり、慢性腰痛に悩まされたり、背中が曲がったりして生活に支障をきたすなどの問題も発生しています。

※『骨粗鬆症の予防と治療のガイドライン』2015年版を参考

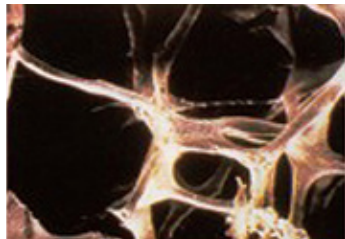
！ 腰椎で、骨の健康がわかります

腰椎は、閉経後の女性にとって最も変化が現れやすい個所です。骨代謝が盛んな海綿骨の情報を多く含んでいるので、骨量の変化をはっきりとらえることができます。また脊椎は、骨粗鬆症によって骨折が起こりやすい個所です。

健康な骨



骨粗鬆症の骨



※出典：浜松医科大学名誉教授 井上 哲郎先生

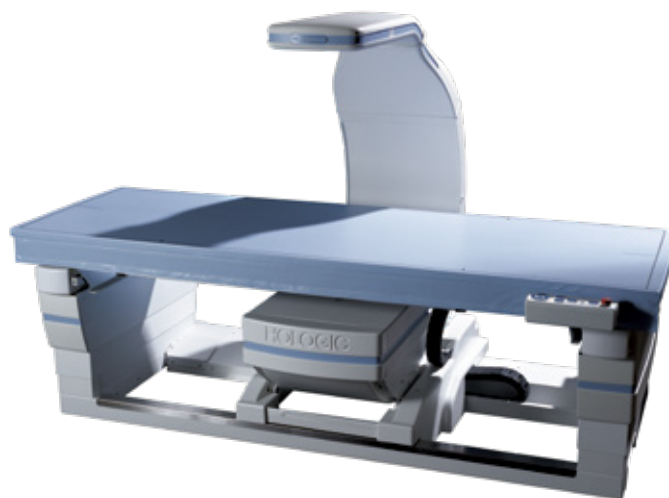
骨密度測定装置



転ばぬ先の「骨粗鬆症」検査を！ あなたの骨は元気ですか？



当院で導入の、骨密度測定装置



米国ホロジック社製 Horizon

世界中で高いシェアを誇る、信頼性の高い装置です。骨密度測定分野では世界標準となっており、高精度な骨密度測定が行えます。

最新の骨密度測定装置で
「骨粗鬆症」の早期発見を。

骨、 元気ですか？



早めの予防で、骨を元気に！

20代をピークに、骨の量は次第に減少していきます。骨に「す」が入ってもろくなり、腰痛や骨折の原因となります。これが、「骨粗鬆症」です。

女性に多い「骨粗鬆症」。「私は大丈夫」と思っている、安心はできません。自覚症状がないので、骨折して初めて知らされる方も少なくありません。

当院では、信頼性が高く、世界中で活躍する米国ホロジック社の骨密度測定装置 Horizon を導入。「骨粗鬆症」の検査が簡単・安心・高精度に行えます。腰椎や大腿骨の骨折で、寝たきりにならないためにも、定期的な検査をおすすめします。



骨密度測定検査を、気軽に受診していただけます。

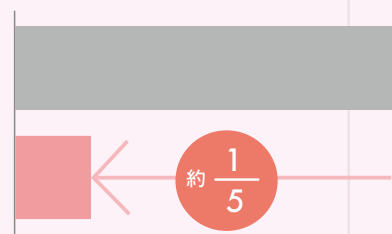
● 身体にやさしい検査

一般の胸部レントゲンの約 1/5 程度の被ばく量で検査が行えます。女性の方でも安心して測定できます。

被ばく量の比較

一般の胸部レントゲン

骨密度測定検査



● リラックスして検査

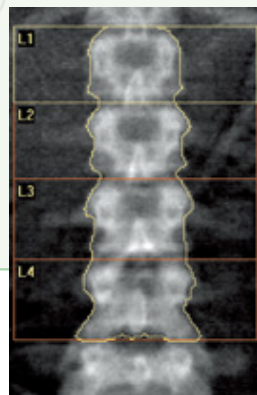
寝台の上に仰向けに横たわり、足乗せ台に足を乗せ、リラックスして検査を受けていただけます。ムリな姿勢は必要なく、痛みもありません。



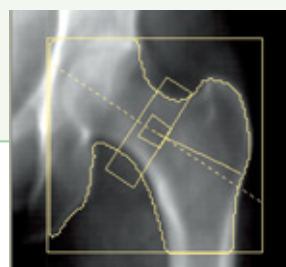
●スピーディに測定

検査室に入室して、約5分で検査が終了します。最新の装置により、腰椎・大腿骨を短時間で測定できます*

腰椎



大腿骨



*測定する部位、機種によって多少時間は異なります。

● 定期的な検査がおすすめです

検査結果はコンピュータに保存されます。定期的に検査を受けていただくことで、より精度の高い診断が行えます。



継続して検査することで、骨密度の変化を把握することができます。